令和８年度

新潟県農業再生協議会

（令和８年６月５日開催）

議事録

令和８年度新潟県農業再生協議会通常総会　議事録

日時：令　和　８　年　６　月　５　日
午前９時 30 分～10 時 30 分
場所：ＪＡ新潟ビル 10 階大会議室

開会（事務局）
○　令和８年度新潟県農業再生協議会通常総会を開会する。
○　はじめに、本協議会の石山会長より、開会の御挨拶を申し上げる。

開会あいさつ（石山会長）
○　本日は､御多用のところ、会員の皆様から御出席を賜り、感謝申し上げる。開会に先立ち一言挨拶申し上げる。
○　現在の米の需給動向についてだが、令和７年産米の売れ行きが鈍い状況が続いており、国においては、令和９年６月末の民間在庫量について、過去最高の水準まで積み上がる見通しを示しているところである。
○　一方で、昨年の米価高騰により、生産現場では主食用米の作付意向が強く、非主食用米は全般的に需要に対し不足している状況であり、全国的に主食用米から非主食用米への大幅な転換が必要な情勢となっている。
○　このため、米を安定生産・安定供給しながら、持続可能な水田農業経営を展開していくためには、令和８年産の取組がとても重要であると認識している。
○　本協議会としては、令和８年産米について、国内外の消費者や、県内の食品製造事業者の皆様に対し、新潟米を安定供給できるよう、主食用米に加え、非主食用米等についても県生産目標を設定し、需要に応じた生産に取り組んできたところであり、今後も需給動向に注視しながら、幅広い農業者や集荷業者などに粘り強く働きかけていくことが必要だと考えている。
○　本日は、令和７年度の事業報告・収支決算等について、委員の皆様からご審議いただくとともに、昨今の需給環境を踏まえ、今後の令和８年産米の推進方針についても時間を割いて意見交換いただく予定。今後の新潟米生産の方向性について、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、開会の挨拶とする。

事務局

○　本協議会は原則公開としており、議事録についても、新潟県農業再生協議会のホームページに公開することとなっているので、承知願う。

○　本日の出席状況を別紙の出席者名簿で確認する。

～出席者名簿により出席報告～

○　よって、規約第 15 条に基づき、本総会は成立している。

○　それでは、これからの進行について、石山会長にお願いしたいが、いかがか。

会員：異議なし

事務局

○　それでは、石山会長にお願いする。

石山会長

○　次第に沿い、議事の進行を務めさせていただく。

○　なお、本日の議事録については、事務局で作成することとし、議事録署名人の選任については、慣例により一任いただきたいが、いかがか。

会員：異議なし

石山会長

○　それでは、議事録署名人を新潟県主食集荷商業協同組合の関口理事長、全農新潟県本部の高野県本部長にお願いする。

○　それでは、議事に移る。議事に先立ち、本日は、現在の米情勢を踏まえ、議事のあとに予定している、８年産米の推進について時間を割いて説明したいと考えている。そのため、議事については、ポイントを絞って説明し、スピーディに進行したいと考えているため、協力願う。

○　第１号議案に移る。第１号議案「令和７年度事業報告及び収支決算について」だが、事前に配布した資料のとおりのため、事務局からの説明は省略する。

○　監査報告について、新潟県農業共済組合の佐々木組合長理事から報告をお願いする。

新潟県農業共済組合　佐々木組合長理事

～第１号議案のうち、監査報告（資料３）について説明～

石山会長

○　第１号議案につきまして、御質問・御意見等を受け付けるが、いかがか。

○　御質問・御意見がなければ、第１号議案は承認としてよいか。

会員：異議なし

石山会長

○　それでは、規約第 15 条に基づき、第１号議案は原案どおり承認された。

○　続いて第２号議案「令和８年度収支予算の変更について」、事務局から説明願う。

事務局

～第２号議案（資料４）について説明～

石山会長

○　第２号議案につきまして、御質問・御意見等を受け付けるが、いかがか。

○　御質問・御意見がなければ、第２号議案は承認としてよいか。

会員：異議なし

石山会長

○　それでは、規約第 15 条に基づき、第２号議案は原案どおり承認された。

○　次の議事に移る。第３号議案「役員の選任について」どのようにするか。

○　特に御意見がなければ、事務局案を説明したいがよろしいか。

会員：異議なし

石山会長

○　それでは、事務局案を説明願う。

～事務局案配布～

事務局

～役員の選任について（資料５・役員案）説明～

石山会長

○　只今の事務局案の説明について、御質問・御意見等を受け付けるが、いかがか。

○　それでは、提案のあった事務局案に御賛同いただける方は拍手願う。

会員：拍手

石山会長

○　それでは、規約第 15 条に基づき、第３号議案は事務局案のとおり決定された。

○　協議事項は以上である。

○　次に、令和８年産米の需要に応じた生産に向けて協議させていただく。

○　まず、北陸農政局新潟県拠点の齊官参事官から情報提供を願う。

北陸農政局新潟県拠点　齊官参事官

～資料「米の需給状況の現状について」説明～

○　日頃より農林水産省行政に協力いただき感謝。私からは、現在の米の状況について説明させていただく。

○　まず、在庫の状況について、令和７年産の在庫が積み上がり、７年６月現在、220 万トンを超える状況であり、令和８年産の生産量が加わると令和９年６月末には 249 万トンとなる見通し。ここに４月末の作付意向を踏まえると、さらに上積みされる懸念がある。

○　次に価格についてだが、７年産の相対取引価格は４月は 33,000 円位だが、業界紙等による最新のスポット価格は 21,000 円前後となっており、関東産などは２万円を切るものも出てきている状況。

○　小売りの状況については、昨年は買い込み需要があり増えていたが、ここにきて消費動向も含め下がり気味となっている。新潟県産米は家庭消費向けの供給が主流で、小売りが落ち込むと販売も苦労する傾向があると思うので、我々としてしっかり消費を喚起する取組も併せて行っていきたいと考えている。

○　農林水産省としては、まず非主食用米の取組計画を６月末の提出期限に向けて、しっかり推進していく。６月末の締め切り後は、８月 20 日の変更期限まで、しっかりと非主食用米への取組を進めていきたいと考えている。

○　北陸農政局新潟県拠点としては、関係者の皆様と一緒になり、取組を進めたいと思っているので、協力をお願いする。

石山会長

○　ただいまの説明について、御質問・御意見等を受け付けるが、いかがか。

会員：質問なし

石山会長

○　続いて、「令和８年度新潟県水田収益力強化ビジョン」について、県農産園芸課の小根沢課長から説明願う。

新潟県農林水産部農産園芸課　小根沢課長

～「令和８年度新潟県水田収益力強化ビジョン（案）について」（資料６）説明～

石山会長

○　今ほど県から説明のあった、新潟県水田収益力強化ビジョンについて、検討願う。

○　御意見・御質問等を受け付けるが、いかがか。

○　それでは、原案に御異議はないか。

会員：異議なし

石山会長

○　それでは、本協議会の検討結果として、事務局案とする。

○　続いて、令和８年産米の需要に応じた生産の推進について、県農産園芸課の小根沢課長から説明願う。

新潟県農林水産部農産園芸課　小根沢課長

～「令和８年産米の需要に応じた生産について」（資料７）説明～

石山会長

○　ただいまの説明について、御質問・御意見等を受け付けるが、いかがか。

会員：質問なし

石山会長

○　今ほど説明のあったように、県目標に沿った非食用米等への転換について、県再生協議会として一体的に取り組んでいくことをお願いしたい。

○　以上で用意した議事は終了となる。進行に御協力いただき、感謝申し上げる。

○　以上で終了させていただく。あとは事務局に対応を願う。

事務局

○　閉会にあたり、新潟県農業協同組合中央会の横尾専務理事から挨拶申し上げる。

新潟県農業協同組合中央会　横尾専務理事

○　閉会にあたり一言御挨拶申し上げる。

○　本時の総会では、前半は準備した３つの議案を承認いただき感謝申し上げる。

○　後半では、新潟県水田収益力強化ビジョンについて協議いただくとともに、特に８年産の需要に応じた生産について、情報共有し、今後の取組みについて確認させていただいた。

○　先日、JA 中央会の伊藤会長から、県協議会の石山会長に対し、異例の要請もさせていただいたところだが、７年産米の在庫状況、８年産米の作付意向結果等、米を巡る情勢は大変厳しいと認識している。

○　取組計画提出の６月末の提出期限、８月 20 日の変更期限を見据え、オール新潟による、更なる需給調整の取組の推進をお願いし、閉会の挨拶とさせていただく。

事務局

○　以上をもって、新潟県農業再生協議会通常総会を閉じさせていただく。

議事録署名人　関口眞佐徳

議事録署名人　高野洋